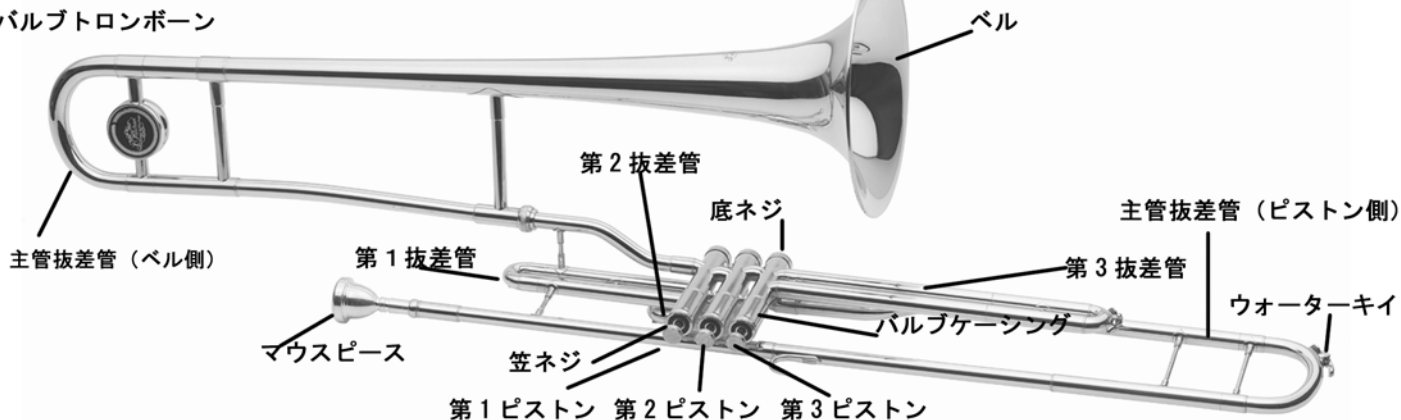


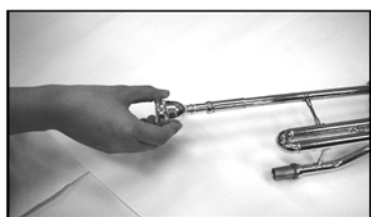
# VALVE TROMBONE の取り扱い

## <各部の名称>

### ■バルブトロンボーン

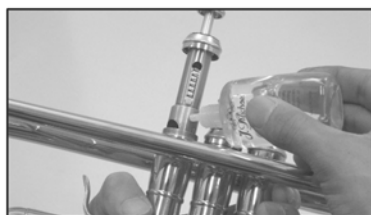


## <演奏前の準備>



### ■マウスピースのセット

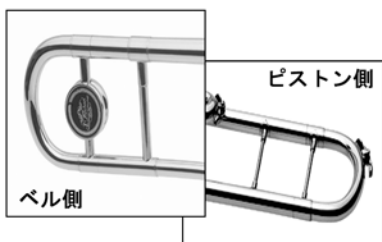
- ①マウスピースは軽く回すようにして入れます。  
\*絶対に強く押し込まないでください。抜けなくなることがあります。



### ■バルブオイルの注油

- ①パルプケーシングの笠ネジを外し、ピストンを回さずにまっすぐ途中まで抜きます。
- ②ピストンにバルブオイルを2~3滴注油します。
- ③再び笠ネジを締めてオイルがなじむように何回かピストンを上下させます。

## <チューニング>



楽器のピッチは温度によって変わります。管内によく息を吹き込んで温めてからチューニングをしましょう。チューニングは主管抜差管（ベル側とピストン側）の抜き具合で調整します。  
抜差管を抜く → 低くなる  
抜差管を入れる → 高くなる

## <ピストンの向き>



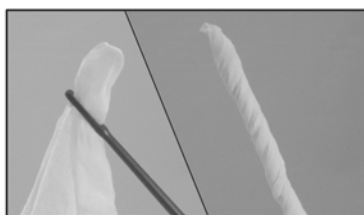
ピストンの番号がマウスピース側をむくようにして下さい。

## <楽器の組み立て>



安定した姿勢で落ちて組み立て、継ぎ手ねじを締めて固定します。組み立て時、管体とベルの位置は演奏しやすい角度にして下さい。必ずケーシングを持つようにして下さい。また、組み立て後もぶついたりひねったりしないように十分注意して下さい。

## <演奏後のお手入れ>



### ■ピストンとパルプケーシング

- ①クリーニングロッドの先端が露出しないように、ガーゼを巻きつけます。
- ②パルプケーシングの内側の汚れを拭き取ります。
- ③ピストンの汚れをガーゼ等で拭き取ります。
- ④ピストンの番号と、向きに注意してケーシング内におさめます。

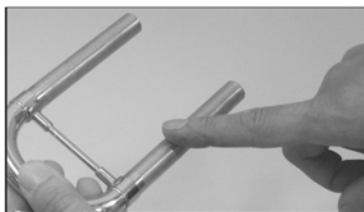
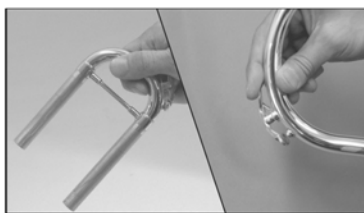


\*長期間演奏しない場合、多めにオイルを注油してください。さび付きの防止になります。



### ■抜き差し管

- ①ウォーターキーや抜差管から管内の水分を出してください。  
\*抜差管を抜き差しするときは対応するピストンを押しながら行ってください。
- ②抜差管の古いグリスを拭き取り、新しいグリスを塗ります。グリスがなじむように、2~3回スライドさせます。



### ■表面の汚れをとります

- ①クロス等で管体表面の汚れやほこりを拭き取りましょう。

## <楽器の構え方>



楽器を組み立て後、左手でケーシングをしっかりと持ち、右手でピストンを操作できるように構えます。